



平成 20 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社 角川グループホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼 COO 佐藤 辰男
 (コード番号 9 4 7 7 東証第一部)
 問合せ先 取締役統括マネジャー 梶田 敏夫
 (TEL. 0 3 - 3 2 3 8 - 8 7 1 0)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 4 月 30 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

第 2 四半期連結累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	75,000	2,600	2,800	800
今 回 修 正 予 想 (B)	69,000	1,000	1,500	△1,800
増 減 額 (B - A)	△6,000	△1,600	△1,300	△2,600
増 減 率 (%)	△8.0	△61.5	△46.4	△325.0
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月中間期)	74,676	2,922	3,389	771

通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	152,000	6,600	7,000	3,000
今 回 修 正 予 想 (B)	145,000	4,500	5,200	100
増 減 額 (B - A)	△7,000	△2,100	△1,800	△2,900
増 減 率 (%)	△4.6	△31.8	△25.7	△96.7
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	150,789	5,133	5,951	△2,598

2. 業績修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、クロスメディア事業において、広告業界全体が縮小する中、広告売上が前年同期を下回る水準で推移しており、引き続き厳しい状況となっております。映像事業においても、「カンフー・ダンク!」「ダイブ!!」等の作品が計画を大きく下回り、売上高、営業利益、経常利益ともに予想を下回る見通しであります。一方、出版事業におきましては、書籍販売を中心に堅調に推移いたしました。また、平成20年10月9日付で開示いたしました「平成21年3月期第2四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ」のとおり、当社の保有する「その他有価証券」および「満期保有目的の債券」について、評価損を特別損失に計上することから、第2四半期累計期間の四半期純利益は、前回予想を下回る見通しであります。

通期の見通しにつきましても、出版事業においては、引き続き堅調に推移する見込みですが、売上高、営業利益、経常利益並びに当期純利益において、上記の理由などにより、予想を修正しております。

(注) 上記の予想は、当社が本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は環境の変化により異なる結果となることがあります。

以 上